

社会科学学習指導案

1 単元名・学年

単元名『二度の世界大戦と日本』 小単元名「アジアと太平洋に広がる戦線」(3年)

2 単元設定の理由

生徒たちはこれまで歴史学習において、「なぜ武士は生まれてきたのだろう」「なぜ江戸幕府は260年もの長きにわたり続いたのだろう」などと、疑問をもち、歴史的事象の原因や背景に着目しながら追究を重ねてきた。昨年度、3年生と第二次世界大戦を学習にするにあたり、映画「はだしのゲン」を観た。生徒たちはあまりに悲惨な戦争の状況に、戦争の始まった原因に強い疑問をもち、追究していった。

本年度も、疑問をもちながら原因や背景に着目して追究する3年生の目の前の生徒たちと、第二次世界大戦の学習の導入に、映画「はだしのゲン」を観たい。生徒たちは単元の最初に、「なぜ日本は戦争をしてしまったのだろう」と強い疑問をもつだろう。この映画を単元最初に観ることは、第二次世界大戦の終わりを先にみることになる。この戦争の悲惨な結末から、生徒たちは戦争の原因に強い疑問をもちながら、時代をさかのぼり、時代を追ってその原因を探っていくだろう。

生徒たちと戦争の原因を考えながら順を追って時代の流れを学んでいき、毎時間の終わりに「本時の学習の中で第二次世界大戦の原因となることはあつただろうか。またそう考える理由は？」という問いを切り口に振り返りをし、学びを積み重ねていく。そして、単元最後に、単元最初の学習問題「なぜ日本は戦争をしてしまったのだろう」についても一度クラス全体で話し合いをすることを通して、学んだ内容を総動員し、関連付けて考えながら思考判断する生徒の姿を願い、本単元を設定した。

3 単元の目標

知識および技能	思考力・判断力・表現力
経済の世界的な混乱と社会問題の発生、昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き、中国などアジア諸国との関係、欧米諸国の動き、戦時下の国民生活などを通して、 <u>軍部の台頭から戦争までの経過と、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解する。</u>	工業化の進展と政治や社会の変化、明治政府の諸改革の目的、議会政治や外交の展開、近代化がもたらした文化への影響、経済の変化の政治への影響、戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと我が国の動きとの関連などに着目して、 <u>事象を相互に関連づけるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現すること。</u>

※具体目標 (略)

4 単元の大要 (全11時間)

【働かせる見方・考え方】

時期や年代 推移 比較 相互の関連や現在とのつながり
----------------------------

【展開】

段階	学習問題 ○学習内容	指導上の留意点
前単元	<ul style="list-style-type: none"> <li>日清戦争 原因と経過と結果</li> <li>日露戦争 原因と経過と結果</li> <li>第一次世界大戦 原因と経過と結果</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>戦争にかかった費用、亡くなった方の数などを提示しながら、「なぜ日本は～戦争で…と戦ったのだろうか。その結果はどうなったのだろうか」の学習問題で追究しておく。</li> </ul>
課題把握	<p>① 映画「はだしのゲン」を見て、感想や疑問を書く。 →「日本はなぜ戦争へつき進んでいったのだろうか」【単元の学習問題】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>満州事変から原爆投下、ポツダム宣言受諾まで、日本は15年もの長きにわたって戦争の最中であつたこと、その戦争の終わりの頃の映画であると伝え、映画を提示する。</li> <li>映画から感じた悲惨さ、悲しさなどの感想を基に、学習問題を設定する。さらに、映画、戦争に関する疑問を上げるように伝える。</li> </ul>
	<p>② 世界恐慌と日本が戦争へつき進んで</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>経済の世界的な混乱と日本が戦争へつき進ん</li> </ul>

課題追究	いったことは関係があるのだろうか。	でいったことが関係しているか考えられるようにする。 ・授業の終わりに「 <u>本時学んだことの中に日本が戦争につき進んだ原因となるものはあったのだろうか</u> 」の視点で振り返りをする時間を毎時間設ける。
	③ 欧米諸国の経済政策と日本が戦争へつき進んだことは関係があるのだろうか。	・ブロック経済、ニューディール政策が日本が戦争につき進んでいったことと関係しているか考えられるようにする。
	④ 日本国内で軍部が強くなり、政党が弱くなったことと日本が戦争へ突き進んだことは関係があるのだろうか。	・国内の軍部が強くなったこと、政党が弱くなったことと日本が戦争につき進んでいったことの関係に気付けるようにする。 ・満州事変、5・15事件、国際連盟脱退、2・26事件について学ぶ。
	⑤ 日中戦争はなぜ始まり、国内はどう変わったのだろうか。	・中国との戦争が激しくなったこと、国家総動員法、大政翼賛会、国民の生活の変化を学ぶ。 ・長野県の動きとからめ、満州移民についても触れる。
	⑥ 世界はなぜ第二次世界大戦に入ってしまったのだろうか。日本は其中でどうしていったのだろうか。	・第二次世界大戦への流れ、日独伊三国同盟、日ソ中立条約を学ぶ。
	⑦ 日本はどの国を植民地にし、どんな政策をそこで行ったのだろうか。	・太平洋戦争、大東亜共栄圏、日本が植民地にした国とそこで行った政策を学ぶ。
	⑧ 太平洋戦争はどのように展開し、日本の人々の生活はどのように変化したのだろうか。	・ミッドウェー敗北、勤労動員、学徒出陣、学童疎開、言論統制、イタリア・ドイツの降伏を学ぶ。
	⑨ 太平洋戦争はどのようにして終わったのだろうか。	・原爆投下（ここで単元最初とつながる）、ポツダム宣言受託を学ぶ。 ・「マッピングシート」で考えを整理する。
	課題解決	⑩ 日本はなぜ戦争へつき進んでいったのだろうか。単元の学習を振り返り、話し合おう。
⑪ 再びこうした悲惨な戦争を起こさないために、日本は何ができるのだろうか。（特設）		・単元の終わりの、学びを生かす、未来につながる話し合いの場面として、この時間を設ける。（思考判断）

【次単元へのつながり】

第二次世界大戦、太平洋戦争の惨禍を経験した日本が、どんな日本を目指して再び国づくりをしていったのかを予想し、調べていく。また、アメリカとの関係、国際連合への復帰も学びながら、国際社会の中に日本が復帰していったことを捉える。

5 本時案

(1) 本時の主眼

「日本はなぜ戦争につき進んでいったのか」について考える場面で、「政治面」「経済面」「外交面」「文化面」の観点から、グループでお互いの意見を伝え合い、マッピングシートを用いて考えを整理することを通して、日本が戦争につき進んでいった理由について、政治、経済、外交、文化のつながりから多面的に考えることができる。

(2) 指導上の留意点

- ・「政治」「経済」「外交」「文化」など複数の観点から多面的・多角的に考えることができるよう、「マッピングシート」を用いて考えを整理するように伝える。（第9時より使用）

(3) 本時の展開

段階	学習活動	予想される生徒の反応	指導・助言 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">評価</span>	資料	時間
導入	1 自分の考えを確認し、発表する。	<p><b>【単元の学習問題】</b> 日本はなぜ戦争につき進んでいったのだろうか。</p> <p>ア 世界恐慌が原因ではないか。経済的な苦しさから戦争につき進んだと思う。<b>【経済面】</b></p> <p>イ 軍部が政治をするようになったからだと思う。<b>【政治面】</b></p> <p>ウ 言論統制をして、戦争に反対できなくしてしまったからではないか。<b>【文化面】</b></p>	<p>◇前時の学習カードを確認し、経済面、政治面、外交面、文化面の中でどれが一番の理由であると考えたかを発表するように伝える。</p> <p>◇出された意見を整理し、考えの違いを明らかにして、学習課題を据える。</p>	これまでの単元の学習の流れと内容がわかる写真	7
展開	2 政治面、経済面、外交面、文化面を観点に、グループで話し合う。	<p><b>【学習課題】</b> 政治面、経済面、外交面、文化面を観点に日本が戦争につき進んだ理由をグループで話し合い、マッピングシートで考えを整理しよう。</p> <p>エ 世界恐慌の経済面が原因だと思う。そこからブロック経済が起き、植民地の少ない日本、イタリア、ドイツの不満から国家間の対立が生じた。</p> <p>オ 自分は五・一五事件や二・二六事件で首相や大臣が殺され、軍人が力をもつようになった。そこから国際連盟を脱退した所が大きいと思う。軍人が日本を動かしたことで戦争に向かっていったのではないか。政治面。</p> <p>カ 「言論統制」が大きいと思う。国民には正確な情報は伝えられていなかったから勝利を信じていたし、戦争に反対すると非国民と言われて非難された。戦争に反対する雰囲気がつくれなくなってしまったのではないか。</p> <p>キ 経済面の苦しさから軍国主義になった。国の方針や情報統制で戦争に反対できなくなった。どれもつながっているのかも。</p>	<p>◇グループの中で最初に司会者、発表者を確認し、話し合いを進めるようにする。</p> <p>◇自分の考える理由のところにネームプレートを貼るよう促し、途中考えが変わった場合はプレートを貼り替えてよいことを伝える。</p> <p>◇話し合いの中で、4つの側面のうちどれが大きい理由なのか、班で1つの見解が導き出せるように伝える。</p> <p>◇適宜グループの話し合いの中に入りながら、他の観点の意見を位置づけたり、違う観点から質問をしたりしながら話し合いを深められるようにする。</p> <p>◇話し合いの経過と班の意見を発表するように促す。</p> <p>◇意見や質問を発表し合うように伝える。</p>	拡大したマッピングシート	30
まとめ	3 本時の学習を振り返り、学習問題に対する自分の考えをまとめる。	<p>ク 軍人の力が強まったことが大きな理由だと思っていたが、意見交換から、世界恐慌やブロック経済で植民地がない日本の不満が高まった経済的な理由も大きいと考えられるようになった。</p> <p>ケ 話し合っってマッピングシートの線をさらに結ぶ中で、4つの観点がそれぞれ関係していることに気付いた。どれも理由につながっていると思った。</p>	<p>◇学習問題に対する考えをまとめ、発表するように促す。</p> <p>◇多面的・多角的に考えたり、関連性に目を向けたりした生徒の考えをとりあげ、全体に広げるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>日本が戦争につき進んでいった理由を多面的に考えたり、政治、経済、外交、文化のつながりに気づいたりすることができたか。(発言・ワークシート)</p> </div>		13

